

災害に備え、家庭での食料や非常持ち出し袋の見直しをお願いいたします。停電、断水を想定し、必要な物資を考えてみましょう。食料品などは3日程度は過ごせる量、水は一人1日3リットルを目安にし、「ローリングストック」による普段の食事でも兼ねた備蓄をお願いいたします。

✓ご自宅の備蓄品をチェックしてみましょう!(リスト品目は抜粋です。必要な品を調べましょう)

- 食料・飲料水
- 衛生用品(歯ブラシ、除菌シート、マスク)
- 衣類・下着・タオル
- 貴重品(現金、免許証他)
- 照明(懐中電灯、電池)
- 情報(ラジオ、モバイルバッテリー)
- 個人的(常備薬、メガネ、)
- その他(カセットコンロ、簡易トイレ)
- 子供用品(ミルク、おむつ、おもちゃ)
- 女性用品(生理用品、防犯ブザー)
- 高齢者用品(紙おむつ、杖)
- 季節用品(虫よけ、カイロ)

※ストーブは乾電池不要で、レバーを手回して点火するタイプがあります。ストーブを買い替えの際は是非ご検討をお願いいたします。



TOPIX 補助犬について

補助犬とは、体に障がいのある人の目や耳、手足となって働くよう訓練された犬で、「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の総称です。

盲導犬や介助犬に比べ、聴導犬はあまり知られていないのではないのでしょうか。聴導犬は、耳に障がいのある人に、目覚まし時計、玄関チャイム、携帯電話など、生活上必要な音を知らせて行動をサポートします。障がい者さんの社会参加に大きな役割を果たしているのですが、補助犬の育成や社会での理解が進んでいないのが現状の課題と認識しています。

補助犬は「身体障害者補助犬法」に基づく訓練を受け、衛生面も配慮しています。体は清潔に保ち、予防接種、拾い食いをしないなど訓練されています。このことから、飲食店、病院、ホテルなど、使用者と一緒に行動することができます。

補助犬はペットではなく、生きた自助具であること。誰もが暮らしやすい地域となるよう、理解促進に取り組みます。



補助犬は胴着を着用

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 災害ボランティアさんを募集しています

被災地では、まだまだ人手が足りていません。ボランティアのご協力をお願いいたします。ボランティア情報は左記のQRコードよりご確認をお願いいたします。



物資を送りたい... 企業・団体からのまとまった規模の義援物資を受け付けています。  
 義援金を送りたい... 地震に係る義援金は12月27日まで、豪雨に係る義援金は令和7年3月31日まで受け付けています。

遠方からボランティアに行く... 災害ボランティアセンターを通して活動される方を対象に、高速道路の無料措置があります。



地震災害義援金

ご注意 「自宅の固定電話が危ない!」

防犯機能付き電話機を導入しましょう!

緊急の電話は110番  
相談の電話は#9110



お困りごとやご相談は、ご遠慮なく電話やFAX・メールでご連絡ください。



石川県議会議員

太郎田まり

〒920-0912  
 金沢市大手町9-30-201  
 TEL: 076-224-5501  
 FAX: 076-224-5502  
 Mail: ishikawa@tarouda-mari.com

Mari's Voice



2024年 秋冬号

発行: 太郎田まり事務所 金沢市大手町9-30-201 討議資料

能登半島地震からの復旧途中にありながら、9月に豪雨災害も発生し、仮設住宅が床上浸水するなど大きな被害が発生しました。避難したはずが、再び避難生活に戻ってしまうなど、非常に心苦しい想いととも、一日でも早い復旧に取り組む必要があります。今回の豪雨災害に対しては、国から予備費509億円の支出が決まり、県としてはまず142億円の補正予算を組みました。被害状況の調査を進めたうえで、新たな補正予算を組み、復旧を進めます。

度重なる災害に復旧が遅いとのことご意見もいただきます。県外事業者へ支援を依頼をしていますが、災害は広範囲かつ規模も大きいため、時間を要する事態となっています。将来に向けては、インフラの強靱化や廃棄物処理の促進など、教訓を踏まえ、災害が起きたとしても、早く復旧できる地域をつくる。今取り組んでいる復興計画のテーマの一つです。

また、防災意識が高まっている今、防災教育にも力を入れています。学生に防災士資格取得を促すなど、国土強靱化とともに人材育成にも取り組んでいます。ハザードマップの見直しも進んでいます。地元を知るために、まずはお住まいの地域のハザードマップのご確認をお願いいたします。

皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

石川県議会議員 太郎田真理



小森たかくお 衆議院議員と街頭演説

2年ぶり

県政報告会

令和7年2月9日(日)14時~ KKRホテル金沢  
 ゲスト: 高市 早苗 代議士(予定)

石川県議会定例会12月3日~19日

石川県議会 中継

TOPIX 今行ける能登ツアー

旅を通じて北陸地方を応援する「能登半島復興応援ツアー」が始まっています。これは、他県の方にも被災地の現状を見てもらうとともに、旅を通じて能登を応援してもらおうという内容です。具体的には、被災地をめぐる。能登鉄道に乗りガイドの被災体験を聴く。地元食材を使った能登弁当を食べる。観光地を楽しむなどです。

ルート例: 関東出発→氷見→金沢宿泊→千里浜→巖門→能登鉄道→被災地巡り→関東帰着

「被災地に観光客を受け入れる余裕があるのか」という声もありますが、被災地に負担をかけないよう尽力されています。そして、復旧・復興段階で懸念することは、「被災地への関心が薄れること」と考えています。事業者やボランティアさんの支援も必要で、関心が薄れれば復興の遅れにつながります。このツアーは復興の一助となるものと考えています。

最新の交通情報、観光地の営業状況、イベント・お祭りの開催情報、宿泊施設情報は、「ほっと石川旅ねっと」のご確認をお願いいたします。



### 議会だより

令和6年9月定例会において、補正予算を審議、可決しました。補正予算計上額は約670億円で、うち能登半島地震への対応に637億円です。予算委員会での質疑(抜粋)を報告いたします。



### 農村RMOについて

**太郎田** 能登の中山間地など、人口減少が著しい地域については、積極的に農村RMOの制度活用をすべきだが、認知度が低い。今後、どのように周知するのか。

**答弁** 農村地域のコミュニティ維持強化が重要だ。県・市町の職員に説明会をする。ニーズの掘り起こしや事業に興味のある地域に直接出向き、個別相談を行う。

農村RMO…複数の集落が農地を守り、特産品の開発、デマンド交通で買い物など生活支援に取り組む組織。地域の自治会や社会福祉協議会など関係団体の支援と補助金があります。

### 医療版ワーケーションについて

**太郎田** 市外・県外の医師が休暇を兼ねて他の地域の病院に勤務する「医療版ワーケーション」の取組みが広島県や和歌山県で始まっている。石川県の医師や病院は地域偏在があるため、制度を導入して医師不足と多忙化改善をすべきだ。

**答弁** この取組みは昨年からはまったものであり評価が難しいが、医師不足地域において医師確保に寄与する可能性がある。慣れない環境での診療を行うなど課題もある。広島県で導入した経緯や実績、課題などについて検証したうえで対応する。

また、震災対応で来ていただいた医師にも制度を活用してほしい。関係維持をどのように図っているか伺う。

応援医師とは、地震対応の検証会など意見交換を行っている。

医療版ワーケーション…医師が休暇を兼ねて他地域の病院に勤務する取組み。日中は観光、夜間は病院に勤務。医師は観光を楽しみ、給与と交通費も支給される。病院にとっては医師不足解消と多忙化改善に繋がる。

### 渋滞対策について

**太郎田** 歩車分離式信号機の導入が拡大している。安全性の確保は承知しているが、昨年導入された大手町交差点では時間帯によっては渋滞が発生している。10月から兼六園下交差点にも導入・実証実験をすることのことだが、何を検証するのか伺う。

**答弁** 大手町交差点では、信号の秒数を調整することで交通の円滑化が図られた。兼六園下交差点においても、実証実験で交通の流れの変化を調査する。渋滞を解消し、安全確保と交通の円滑化が期待され、特段のデメリットは無い。

県警は、歩車分離式信号機を導入した大手町交差点では渋滞は認められないと言いますが、大手町交差点は太郎田事務所の目の前です。市民と県警で渋滞の感覚が違うことが浮き彫りになりました。また、実証実験は信号の秒数の適正化を探るもので、歩車分離式信号の正式導入を前提とした実証実験と考えられます。地元住民から「知らなかった」と言われないよう、県警には周知と渋滞対策を求めています。

### 教職員の確保と多忙化改善について

**太郎田** 全国的に教員不足の状況です。石川県の状況を聞く。また、大学3年生を対象とした特別選考をするなど、教員確保の取組みが進んでいる。今後の取組みを聞く。

**答弁** 県内では81校72人が未配置となっている。確保については、大学での説明会や教員免許を持っているが学校で働いていない方への説明会を開催する。スクールロイヤー制度については国や他県の動向を注視する。

また、多忙化改善と教員を守るため「スクールロイヤー制度」の導入を求めます。

県教育委員会は、スクールロイヤーについて「国や他県の動向を注視する」とのことですが、未導入は6県以下(2023年)であること、文部科学省も導入を推奨していることから、有用性は明らかです。教職員を守るために取り組んで参ります。

### 【農林水産業功労者表彰式】環境農林建設委員会の委員長として出席



財務省・国交省に提言活動

### Mari's



### Report



【音楽堂マルシェ】被災地以外での復興支援にも取り組みます



【農林漁業まつり】環境農林建設委員会委員長とし賑わう様子を視察



【親子県議会】議会体験や議会の役割を紹介し主権者教育は大切です



【いしかわ環境フェア2024】環境課題解決にはデジタル化推進と理解促進が必要です



【福祉水泳きりり☆を応援】障がいがあってもスポーツを通しあたり前に社会参画出来るように支援します



【金沢パイロットクラブ】脳関連障がいを持つ人々への支援をするパイロットクラブ。世界各地のクラブがチャリティウォークを実施しています



Mari's Voice



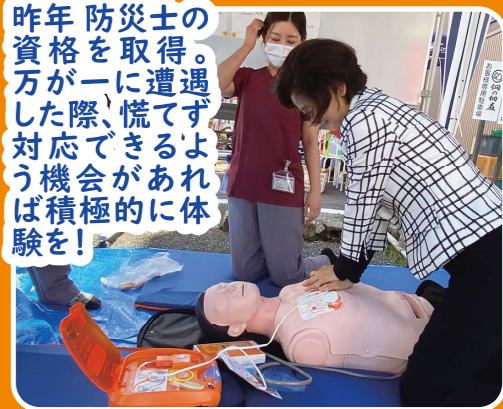
Mari's Voice



能登半島地震で被災した漁港を視察。ニーズを把握し、復旧復興に取り組みます



能登復興祈願キリコ大祭in金沢 来年は能登ご当地での開催を祈って



昨年 防災士の資格を取得。万が一に遭遇した際、慌てず対応できるよう機会があれば積極的に体験を!



音楽を通じた幼児教育にも取り組んでいます



【国際交流祭り】異文化交流には多くの発見と学びがあります



運動会に全力で参加 地域コミュニティの維持発展は、万一の災害時にも重要です